

珠州市の小学校と新潟市の小学校を石川県支部と新潟県支部が橋渡し

4月11日朝 5:00新潟県支部の事務局を出発して、約7時間30分後の 12:30 によやく石川県支部が避難所支援をしている珠州市の小学校へ到着しました。

第一陣は、珠州市に3日間の災害ボランティアを実施する他に、新潟市の小学校で集めた義援金を珠州市の小学校に直接手渡しすることも第一陣の重要な目的の一つです。

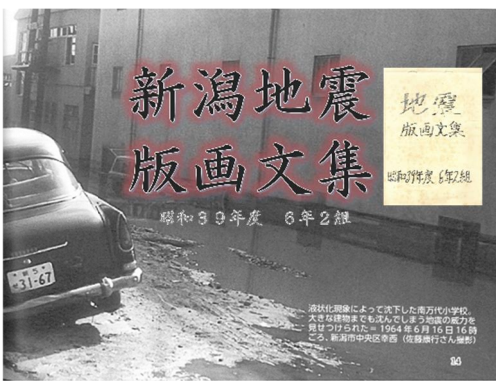
石川県支部の副理事長から珠州市の小学校に繋いでいただき、授業に組み入れて Zoom オンラインで新潟の小学校 6 年生と交流しながら、義援金の贈呈式をすることができました。

新潟市の小学校は、新潟県支部が防災学習をサポートしている学校で、信濃川を見渡せる高層マンション群が建ち並ぶ都会の学校です。60 年前の「新潟地震」の際は、一階部分が液状化により沈下して、校舎の建替えして、現在は 3 代目の最新鋭の校舎です。(児童数 341 名)

校長室に所蔵されていた新潟地震当時の生徒が書いた新潟地震の体験作文と版画を新潟県支部がデジタル化して文集にしました。生徒達も防災学習で「新潟地震」を学んでいます。



●現在の新潟の小学校校舎



●1964 年 新潟地震当時の新潟の小学校と文集表紙



●3/14 新潟の小学校で義援金をお預かりした時

「赤ちゃん、おはあつた。おじいちゃん、みんなあわててにげてく。おあざむき、わあわあ。」というけげん、みんなのこに逃げてく。出前の途中の、赤ちゃん、買い物棚のおねえさん、赤ちゃんをおんじ、両手に荷物をいっぱい持つて、おぼさん、どこへ行くの、だろ。あてもなく、「火、水、津波」に、おわれて逃げて行く。今日の夜、どこへ逃げるかわからず、どうにもまれ、逃げて行く。一年生の先生も、生徒を自分の子のように、だき、おんじ、逃げていく。わたしは、あの日のことを、思い出します。そう、もう二度と、地震というものが、こないように、わたしは思ふ。

●新潟地震の作文と版画を新潟県支部がデジタル化した文集



3. にげる!!

4/11 新潟市南万代小学校とのオンライン交流

(※珠洲市立正院小学校ブログから写真、文書引用)

[https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/shouie/blogs/blog entries/index/page:2?frame id=12](https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/shouie/blogs/blog%20entries/index/page:2?frame%20id=12)

11日(木)、13時20より新潟市南万代小学校とのオンライン交流を行いました。南万代小学校では、60年前の新潟地震を教訓に防災学習に取り組んでいる学校です。新潟県の防災士会の皆さんがその学習をサポートされているとのこと。また、新潟県の防災士会の皆さんは、1月から本校避難所活動の支援をされています。今回、新潟市南万代小学校の子ども達は、自分たちの古本を集め、売った収益を本校に義援金として寄贈して下さることになりました。今朝、新潟県の防災士会の方が新潟を出発し、お昼ごろ本校までその義援金を届けてくれました。



続いて防災士の方から本校の6年生へ義援金が手渡されました。次に児童を代表して、義援金をいただいたお礼を伝えることができました。最後に校長から、正院小学校の特色として、もうすぐ150周年を迎えること、6月には創立記念相撲大会や鼓笛パレードを行っていること、地震の影響で児童数が約半分になったことを伝え、地震で他校に学んでいるみんながいつでも帰ってこられるように、あふれる声で、あふれる夢で明日を夢見てすすんで学ぶ正院小学校となるように取り組んでいきたいことを話しました。

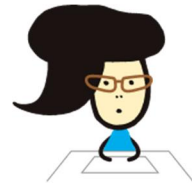


1度だけの交流とせず、ぜひ今後も定期的に交流できればいいと思います。新潟市南万代小学校の皆さん、義援金ありがとうございました。大切にさせていただきます。

石川テレビニュース

ISHIKAWA TV NEWS

石川県内ニュース



県内ニュース **FNNプライムオンライン** 特集記事はこちら

新潟の小学生が集めた古本売って能登半島地震の義援金に…珠洲市の小学生にオンラインで贈呈式



正院小学校の生徒に義援金の引き渡しをする新潟県支部学校防災教育部会長古俣和博防災士
(石川テレビニュースより)

<https://www.ishikawa-tv.com/news/itc/00001792>

👉 URL をクリック、石川テレビニュースにリンクします。

04/11(木) 17:49

石川県珠洲市にある正院小学校。画面に映っているのは、新潟県にある南万代(みなみばんだい)小学校の子どもたちです。

南万代小学校の子どもたち:

「正院小学校の皆さんが明るく楽しい気持ちになるようなことに使っていただけると嬉しいです。どうぞ受け取ってください。」

11日、行われたのは、南万代小学校の子どもたちが集めた義援金の贈呈式。子どもたちは、地元の商店街で古本市を開いて古本およそ250冊を販売し、5万円あまりを売り上げました。

新潟と石川の防災士会が橋渡し役となり、11日、そのお金が正院小学校の子どもたちに手渡されました。

義援金を手渡す防災士の男性:

「古本を販売して皆さんに届けてくださいということでした有効に使っていただきたいと思います」

新潟も今回の地震による液状化で2万棟あまりが被害を受けましたが、南万代小学校の子どもたちは、もっと怖い思いをした人たちの力になりたいと古本市を企画したそうです。

正院小学校の子どもたち:

「お金ありがとうございました。どんな本を売ってくれたんですか」

南万代小学校の子どもたち:

「例えばかいけつゾロリとか、子どもから大人まで楽しめる本をたくさん用意して売りました。」

正院小学校の子どもたち:「ありがたいなと思って受け取りました。壁とかがヒビ入っているので直したいなと思っています。」

今回の贈呈式をきっかけに二つの小学校では、今後もオンラインで交流を続けていくと言う事です。